

証券コード：4569

健康はキョーリンの願いです。

第55期 株主通信 | 平成24年4月1日～平成25年3月31日

Kyorin 



キョーリン製薬ホールディングス株式会社

健康はキョーリンの願いです。

キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。

Profile

持株会社体制

「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。



*平成24年6月15日付で当社の100%子会社として設立し、同10月より事業を開始いたしました。

株主の皆さまへ

中期経営計画「HOPE100 ―ステージ1―」の達成と 一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解
とご支援を賜り、誠に有難うございます。

当社グループの平成24年4月1日から平成25年3月31日ま
での第55期の事業の概況をご報告申し上げます。



当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を買き、人々
の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念
の具現化に向け、中核子会社である杏林製薬(株)の創業100周
年にあたる平成35年を見すえた長期ビジョン「HOPE100」及
び中期経営計画「HOPE100―ステージ1―(平成22年度～27
年度)」を策定し、平成22年度よりその達成に向けた活動に真
摯に取り組んでおります。

平成24年度は、その3年目として、一層厳しさの増す経営環
境下ではありましたが、連結ベースでの業績向上に努めました。

これからも当社グループは、企業理念の具現化に向け、医薬
品事業を中核とする多核的な事業ポートフォリオの構築により、
「健康生活応援企業」への進化を目指します。

なお、本年6月16日をもちまして杏林製薬(株)は創業90周年
を迎えることとなりました。これもひとえに医療関係者の方々
や株主の皆さまのご支援の賜物であり、厚く感謝申し上げます。

引き続き、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い
申し上げます。



代表取締役社長 山下正弘

長期ビジョン「HOPE100(平成22年度～35年度)」 HOPE: Aim for Health Of People and our Enterprises

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・
発展させ、平成35年には社内外が認める健全な健康生活応援企
業へと進化します。

中期経営計画「HOPE100 ―ステージ1―(平成22年度～27年度)」



事業の概況

》》当期の概況

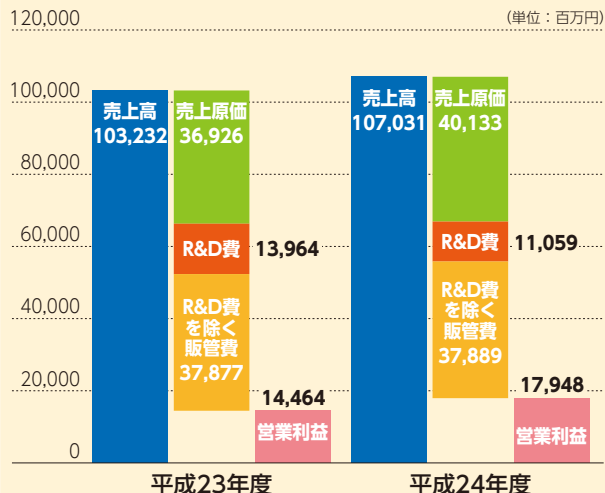
当連結会計年度における国内医薬品業界は、平成24年4月に実施された薬価基準の改定(業界平均:6.0%、杏林製薬:6%台)等、薬剤費の抑制を目的とした諸施策により経営環境は厳しさを増しました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「HOPE 100-ステージ1-(平成22年度～平成27年度)」に基づき、事業戦略である「ファーマ・コンプレックス・モデル(PCモデル)への取り組み促進」「ヘルスケア新規事業の拡充と育成」を積極的に推し進め、持続成長とステークホルダーの皆様からの支持・評価の向上に努めました。

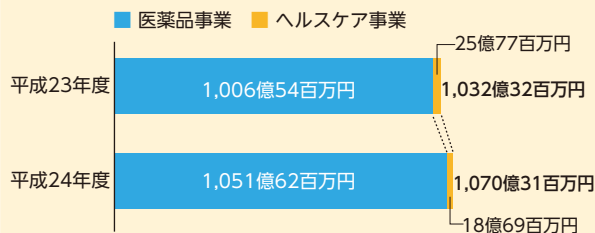
この結果、当連結会計年度の業績は、ヘルスケア事業の売上が減少したものの、医薬品事業における売上は新薬事業、後発品事業ともに前年度を上回る実績で推移したことから、売上高は1,070億31百万円と前年同期比37億98百万円(前年同期比3.7%増)の増収となりました。

利益面では、薬価改定の影響、他社製品の受託生産を主な事業とするキョーリン製薬グループ工場(株)を連結子会社化した影響等により原価率が1.7ポイント上昇しましたが、販売費及び一般管理費は研究開発費の減少等により前年同期比28億92百万円減少したため、営業利益は179億48百万円(前年同期比24.1%増)、経常利益は186億76百万円(前年同期比22.3%増)、当期純利益は124億22百万円(前年同期比34.6%増)といずれも増益となりました。

■ 損益の概要



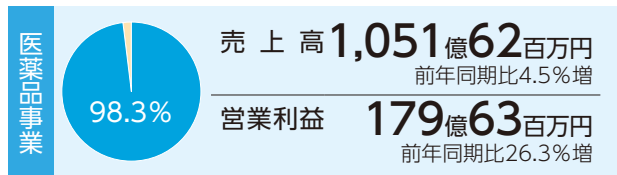
■ セグメント別売上高



■ 平成26年3月期連結業績予想(通期) (平成25年5月9日公表数値)

売上高	1,130億円	(前年同期比 5.6%増)
営業利益	186億円	(前年同期比 3.6%増)
経常利益	192億円	(前年同期比 2.8%増)
当期純利益	127億円	(前年同期比 2.2%増)

セグメントの状況



国内新医薬品 昨年4月に実施された薬価改定の影響はありましたが、既存事業の売上が前年を上回ると共に平成24年10月1日より事業を開始したキョーリン製薬グループ工場㈱の売上が寄与し、売上高は882億86百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を中心とする特定領域の医師、医療機関に営業活動を重点化するフランチャイズカスタマー(F C)戦略の推進と強化等により主力製品の普及の最大化に努めました。主力製品では、気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」が前年を上回る実績で推移しましたが、潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ」、去痰剤「ムコダイン」は前年を下回りました。

海外新医薬品 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン(導出先:米国アラガン社)」に関連する収入は前年同期に対し微減となりましたが、杏林製薬㈱がガルデルマS. A. (本社:スイス)と締結した医療用外用抗菌剤「ペキロンクリーム」に係わる資産譲渡契約に基づく契約金を取得したため、売上高は24億00百万円(前年同期比19.1%増)となりました。

後発(ジェネリック)医薬品 本年度より導入された後発医薬品の使用促進策等により保険調剤薬局への販売が伸長し、他社からの受託生産による売上も増加したため、売上高は100億95百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

一般用医薬品他 主要製品である哺乳びん殺菌消毒剤「ミルトン」の売上が前年を上回る実績で推移し、その他製品の売上増加等もあり、売上高は43億79百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,051億62百万円(前年同期比4.5%増)となり、営業利益は179億63百万円(前年同期比26.3%増)となりました。

研究開発の状況につきましては、世界の人々の健康に貢献できる新薬の創製と提供が新薬メーカーの存在意義を高め、持続成長に結びつくと認識に基づき、自社創薬、導入品の開発、既存品のライフサイクルマネジメント(新効能・効果取得、剤型追加)に積極的に取り組み、特定領域における魅力ある製品パイプラインの構築を推進しました。

国内開発の状況としましては、慢性閉塞性肺疾患治療薬(配合剤)「KRP-AB1102F」のPh(フェーズ)Ⅱ臨床試験を平成24年5月より、ニューキノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977Y」のPhⅠ臨床試験を同7月よりそれぞれ開始し、潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ」では、新用法・用量(1日1回投与)の承認を同8月に取得しました。次に慢性閉塞性肺疾患治療薬(単剤)「KRP-AB1102」のPhⅢ臨床試験を同9月より開始し、気管支喘息治療剤「KRP-108」を同9月に製造販売承認申請し、潰瘍性大腸炎治療剤「ペンタサ」の新剤型である坐剤については、製造販売承認を平成25年3月に取得いたしました。免疫調整剤「KRP-203」のPhⅡ臨床試験を同3月より、「モンテルカストナトリウム」の小児におけるアレルギー性鼻炎(新効能・効果)のPhⅢ臨床試験を同4月より開始しました。

また、千寿製薬㈱へ導出している緑内障治療薬「アイファガン(点眼液)」が平成24年5月に同社より新発売されました。

なお、糖尿病治療剤「KRP-104」につきましては、開発の重点領域、優先度、競合状況等を総合的に勘案し、事業戦略上の観点から開発を中止しました。

自社創製活動におきましては研究領域を呼吸器・泌尿器・感染症に重点化し、効果的かつ効率的な新薬の創製に努めました。以上の結果、研究開発費は前年同期に対して29億04百万円減少し、110億59百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

生産部門では、現中期経営計画「HOPE100-ステージ1-」において、「高品質の製品を安定的に低コストで供給する生産体制の確立」を重点課題の1つとして掲げています。その具体的な取り組みとして、キョーリン製薬グループ工場㈱を設立し、平成24年10月1日より事業を開始しました。



消費低迷の影響等により縮小傾向にあった市場の中で企業間競争が激化し、ナノカプセル技術を応用したスキンケア製品を取り扱うドクタープログラム㈱の売上が前年を下回る実績となりました。この結果、当セグメントの売上高は18億69百万円(前年同期比27.5%減)となり、営業損失は2億00百万円(前年同期の営業利益は52百万円)となりました。

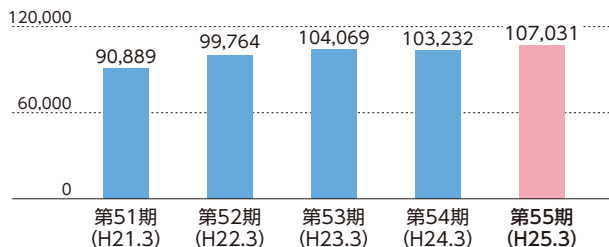
Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

売上高 107,031百万円

前年同期比3.7%増

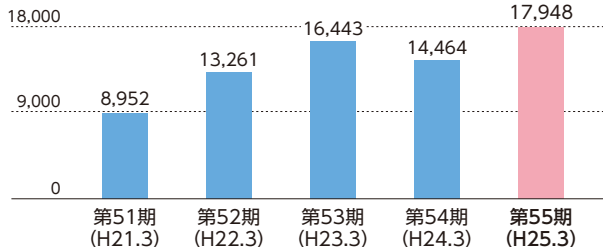
(単位：百万円)



営業利益 17,948百万円

前年同期比24.1%増

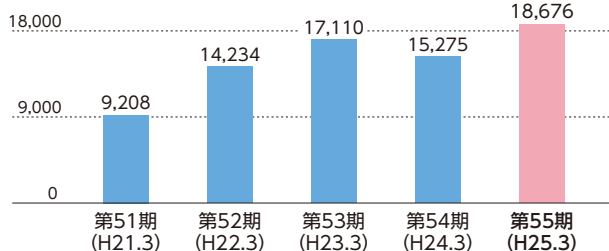
(単位：百万円)



経常利益 18,676百万円

前年同期比22.3%増

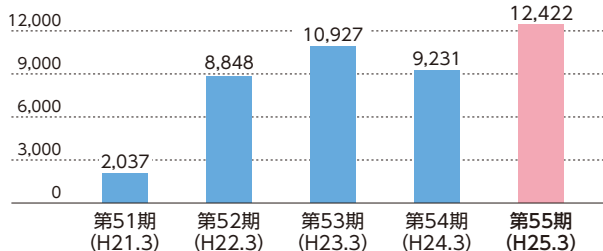
(単位：百万円)



当期純利益 12,422百万円

前年同期比34.6%増

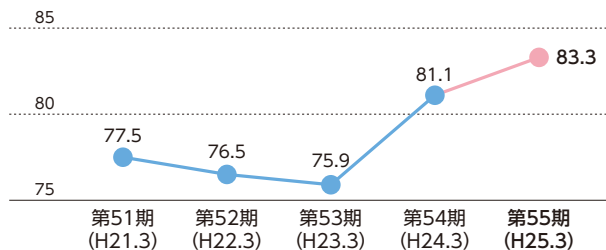
(単位：百万円)



自己資本比率 83.3%

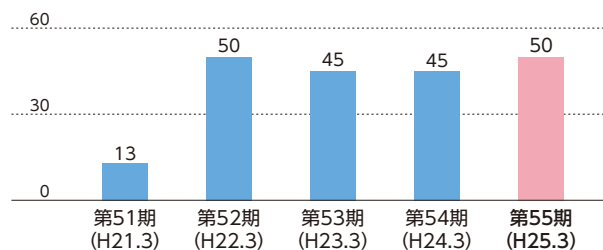
前年同期比2.2ポイント増

(単位：%)



配当金 50円

(単位：円)



連結財務諸表

●連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当期末 平成25年3月31日現在	前期末 平成24年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	108,265	99,850
固定資産	46,702	45,822
有形固定資産	18,209	14,544
無形固定資産	916	846
投資その他の資産	27,577	30,431
資産合計	154,968	145,673
【負債の部】		
流動負債	22,897	23,385
固定負債	2,970	4,086
負債合計	25,868	27,471
【純資産の部】		
株主資本	126,985	117,931
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	121,856	112,797
自己株式	△323	△318
その他の包括利益累計額	2,113	269
純資産合計	129,099	118,201
負債純資産合計	154,968	145,673

●連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	107,031	103,232
売上原価	40,133	36,926
売上総利益	66,897	66,306
販売費及び一般管理費	48,949	51,842
営業利益	17,948	14,464
営業外収益	790	879
営業外費用	62	67
経常利益	18,676	15,275
特別利益	25	22
特別損失	98	34
税金等調整前当期純利益	18,603	15,262
法人税、住民税及び事業税	5,869	5,179
法人税等調整額	312	851
少数株主損益調整前当期純利益	12,422	9,231
当期純利益	12,422	9,231

●連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	11,544	8,913
投資活動による キャッシュ・フロー	△7,187	△4,926
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,132	△7,412
現金及び現金同等物に 係る換算差額	108	△29
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△667	△3,454
現金及び現金同等物の 期首残高	23,210	26,665
現金及び現金同等物の 期末残高	22,543	23,210

主要子会社である杏林製薬(株)の主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、魅力のある新薬の創製に努めると共に呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。



気道粘液調整・粘膜正常化剤
ムコタイン[®]



気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤
キブレス[®]



過活動膀胱治療剤
ウリトス[®]



潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤
ペンタガ[®]



脳血管障害・気管支喘息改善剤
ケタス[®]



環境除菌・洗浄剤
ルビスタ[®]

活性型ビタミンD₃製剤
ロカルトロール

胃炎・胃潰瘍治療剤
アプレース

広範囲抗菌剤
バクシダール

哺乳びん殺菌消毒剤
ミルトン

Products under Development

主な開発品の動向 (平成25年5月現在)

Ph I ~承認 (上市)

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階				
				フェーズI	フェーズII	フェーズIII	申請	承認
KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	国内	H24年9月			
				海外	スカイファーマ社 ムンディファーマ社 上市			
KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラル社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさ等の諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬	国内	H24年9月			
				海外	アルミラル社 上市 フォレスト社 上市			
KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラル社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤と長時間作用性β2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	国内	H24年5月			
				海外	アルミラル社 フォレスト社			
KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社	薬剤耐性グラム陽性菌(MRSA含む)に対して優れた抗菌力 高い安全性が期待される	国内	H23年8月			
KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社			H24年7月			
KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	国内	H23年8月			
				海外	メルツ社			
KRP-203	自己免疫疾患、臓器移植IBD	自社	S1P受容体アゴニスト新規メカニズムを有する免疫調整剤 既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	国内	H25年3月			
				海外	ノバルティス			
ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量(1日1回投与)	国内	H24年8月			
ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型(1日1回投与)		H25年3月			
キプレス (チュアブル錠、細粒)	気管支喘息治療剤	米国 メルク社	小児:アレルギー性鼻炎(新効能・効果)	国内	H25年4月			

開発プロセスの概要

フェーズI

(第I相試験)

同意を得た少数の健康志願者を対象に、安全性のテストを行う臨床試験

フェーズII

(第II相試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投薬方法などを確認する臨床試験

フェーズIII

(第III相試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性及び安全性をチェックする臨床試験

申請

有効性・安全性が確認された新薬の製造販売を厚生労働省に申請

■会社概要 (平成25年3月31日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 (注) 移転に伴い、平成25年5月7日付で変更となりました。
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	76名(連結2,444名)

■株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,947,628株 (内、自己株式 224,488株)
当期末株主数	5,695名

(注) 平成24年7月1日付をもって単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。なお、東京証券取引所における売買単位も1,000株から100株に変更されております。

■役員 (平成25年6月25日 現在)

取締役及び監査役	やま した まさ ひろ
代表取締役社長	山 下 正 弘
取締役	みや した みつ とも
取締役	宮 下 三 朝
専務取締役	ほ がわ み の
専務取締役	穂 川 稔
常務取締役	まつ もと とみ はる
常務取締役	松 本 臣 春
取締役	おぎ はら ゆたか
取締役	荻 原 豊
取締役	こ むら まさ かつ
取締役	小 室 正 勝
取締役	かな い さとる
取締役	金 井 覚
取締役	おぎ はら しげる
取締役	荻 原 茂
取締役(社外)	お ぎ じ せん
取締役(社外)	尾 崎 仙 次
取締役(社外)	しか ない のり ゆき
取締役(社外)	鹿 内 徳 行
常勤監査役	みや した せい ゆう
常勤監査役	宮 下 征 佑
常勤監査役	あ べ しげる
常勤監査役	阿 部 茂
監査役(社外)	お ばた まさ じ
監査役(社外)	小 幡 雅 二
監査役(社外)	ほん だ じゆん じ
監査役(社外)	本 田 淳 治
監査役(社外)	ひろ た ゆき
監査役(社外)	廣 田 保 之
執行役員	
上席執行役員	いし ぎき たか よし
上席執行役員	石 崎 孝 義
上席執行役員	い とう よう
上席執行役員	伊 藤 洋
執行役員	ます い まさ のり
執行役員	舩 井 正 範
執行役員	よし だ よし や
執行役員	吉 田 与志也

キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創業ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。

主な事業内容

創薬研究 | 研究開発 |
製造 | 販売



キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

キョーリン製薬グループのジェネリック医薬品事業子会社であり、「信頼される後発医薬品企業」を目指し、品質面での向上を図り、患者さんが安心して服用できる製品を供給しています。

主な事業内容

研究開発 | 製造 | 販売



キョーリン製薬グループ工場株式会社

<http://www.kyorin-fc.co.jp/>

平成24年10月より事業を開始し、MSD(株)より取得した医薬品生産に関する資産を基に、医療用医薬品の製造に関する事業を行います。従来にも増して高品質の製品を安定的に提供し、製造技術の向上とコスト効率化を目指します。

主な事業内容

製造 | 販売



ドクタープログラム株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤とし、創業以来、「安全で真に効果の高い」化粧品を提供し、女性の美と健康に貢献していきます。

主な事業内容

スキンケア商品の開発と販売



キョーリン メディカルサプライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

従来 of 事業活動に加え、新たに環境衛生事業に取り組みます。

健康や疾病の問題に対し、人々を取り巻く環境を改善して健康の維持・増進を図ることで、健康生活応援企業として社会に貢献します。

主な事業内容

販売促進 | 広告の企画制作 |
環境衛生事業



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月に開催
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

単元株式数 100株
平成24年7月1日付で変更いたしました。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
(特別口座管理機関) みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

(お問合せ先) 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほ証券株式会社
本店及び全国各支店

公告掲載紙 日本経済新聞

(ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 平成25年6月10日付で発送いたしました第55回定時株主総会招集ご通知に同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記お取扱店(株主メモ参照)及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて	社長ご挨拶、企業理念・ビジョン、コーポレートガバナンス、会社概要、組織図 等
事業内容	新医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品他、ヘルスケア事業 等
株主・投資家情報	IRライブラリ、アニュアルレポート、有価証券報告書、株主総会招集通知 等
その他、グループ経営戦略、CSR活動 等	

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL: info@e-kabunushi.com

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

TEL:03-3525-4700(代)



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT- With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

